

熊本県立大学の新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応指針

熊本県立大学では新型コロナウイルスの感染拡大等に伴い、大学の諸活動についての対応指針を策定しました。この対応指針は、熊本県立大学の学生や教職員の皆さんが状況に応じて、適切かつ柔軟に活動する目安を示すためのものです。

今般、文部科学省が策定した「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（R2.9.3改訂）」で示されている『臨時休業の判断』を参考とし、本学学生又は教職員等に感染者が発生した場合の学校の閉鎖の指針を変更しました。

なお、対応指針のレベルはこれまでと同じ【レベル2：制限・中】を維持しています。

皆さんには対応指針を踏まえ、適切な行動をお願いします。日常生活を送るうえでいつ感染者と接触していてもおかしくないとの認識のもと、「新しい生活様式」を心がけ、3つの密（密閉、密集、密着）の回避、こまめな手洗いや手指消毒の徹底、マスクの着用、咳エチケット等の基本的な感染防止対策を徹底することが、自分を守り、家族や友人等の大事な方々を守ることにつながります。私たち一人一人ができることをやっていくことがとても大切です。

最後に、新型コロナウイルス感染の状況は日々変わります。皆さんには、毎日必ず大学ホームページを確認されるようお願いいたします。

令和2年9月23日

熊本県立大学

理事長 白石 隆